

日大通信に寄せて



「宮桜会」会長
黒木 洋一
(4回卒業)

三者合同の日大通信も第2号の発刊になりましたが、私達「宮桜会」の新役員での活動も「日大ワッショイ」という日大高校とのコラボイベントを橋通のアートセンターで開催する事ができました。これは野崎君(OB)の、太鼓演奏を始め、まぐろ解体やバンド演奏と母校の進学説明会を行う一方、OB企業の会社紹介や物販等、多彩な催しに加え芸術科の教師・生徒のアート発表会も行い大変賑いました。この催事は「宮桜会」としてはOBの参加があまり多くなかった事で課題を残したが母校の方からは大変喜ばれました。これからも50周年に向けて色々とお祭りある活動を行います。日大高校OBの皆さんは、私たちが開催するイベントに積極的に参加して、どんどん催事を盛り上げて下さい。よろしくお願ひ致します。

支部だより

●延岡支部



支部長
田口 誠
(5回卒業)

・UMKテレビ宮崎
延岡通信部報道
スタッフ

濃紺で襟にステッチの入った制服に袖を通して、もう44年の歳月が流れてしまった。時の移ろいは早いもので、いたずらに齢ばかりを重ねている。「朝日さす国 美しい…」と、歌った校歌も記憶の中でおぼろげになってしまった。母校のことを振り返る暇もなく、ただ人生を歩んできた私にとって、日大高校で学んだことが、人生観や価値観に大きく影響を与えていると今になって感じている。

当時のクラスには、県内の津々浦々、また奄美大島などの出身者もいて、言葉もさまざま、ワイワイガヤガヤにぎやかな級友に恵まれた。県北の田舎出身の私にとってさまざまなカルチャーショックの連続で、得るものがたくさんあったし、楽しい3年間であった。一番言えることは日本経済の高度成長期を柱に芸術文化においても、とにかく新しいものが次々に誕生し、情報発信され、勉強以外での「楽しい日々」があった気がしている。例えば、音楽にしても、

●清武・田野支部



支部長
野崎 幸士
(25回卒業)

・宮崎市市議会議員
・和太鼓一座
「心響鼓DON」座長
・和太鼓塾「和伝」塾長

2013年に学校創立50周年を迎えるにあたり、我が母校、宮崎日大高等学校の歴史の偉大さに改めて気づくとともに、この宮崎に根ざした教育を発信し続けたことにより、地域に果たしてきた役割は、多大なものがあると思います。また、宮崎の中等教育のリーダー的存在として、素晴らしい人材を社会に送り出してきたことを改めて、実感しております。2012年には、新校舎も建設される予定になっており、よりパワーアップした私学独特の個性的な特徴のある教育の場になること

●関東支部(東京)



支部長
上村 和弘
(21回卒業)

・三京証券株式会社
外国為替事業本部
取締役

21回卒業の上村です。自己紹介を兼ねて述べさせていただきます。私は高校を卒業後、日本大学商学部会計学科に入学、平成2年より社会人として勤めております。現三菱UFJ証券を皮切りに20年に及ぶ金融業務を経験、現在、三京証券株式会社にて取締役・外国為替事業本部長として職務を全うしております。さて、同窓会である「宮桜会」、そして異業種交流会となる「宮桜三省会」の存在を近年知ったわけですが、関東圏が持ちえるパワーとのシナジー効果を含め、卒業生の活動が期待されるところであります。そのような折、関東支部長という立場を仰せ付かった次第でございますので、卒業生が有意義に活動できるよう努めて参ります。

今になって「不滅の名曲」といわれる、さまざまなジャンルの音楽がリアルタイムでラジオから流れていた。勉強よりも100倍楽しかった。しかし、それが私個人としては「感性」を豊かにしてくれたと信じている。

さて、宮桜会の活動について、県北出身者は、汽車通か下宿に2分される。それゆえに組織的にOB、OGをまとめるのは、至難の業である。また、卒業後に県外に出たままの仲間もいる。何はともあれ1学年のクラス数が多かったこともあって「アンタも日大出身？」ということが多々ある。縦、横の連携を密にして助け合い、支え合うための同窓会の再構築には共鳴する。同窓会を強固なものにする魅力ある「宮桜会」にするために、できる限りの努力は惜しまないつもりでいる。

支部活動
・県北支部 11月県北地区同窓会(予定)
延岡地区
お問合わせ先: 携帯090-4485-5928

を祈念いたします。

宮崎日本大学高等学校の素晴らしさを改めて、再認識するとともに、卒業された、我が宮崎日大高等学校OB会「宮桜会」会員にもその意を伝え、OB会の充実を図り、在校生への拠所(よりどころ)となるよう、しっかりと組織を構築していくよう頑張っていきたいと強く思います。

支部活動
・清武・田野支部 支部リニューアル決起大会
清武・田野地区
お問合わせ先: 携帯090-2500-4739

ます。この活動を通じて、卒業生に起こりうる各種リスクの低減や人的な相互連携・協力体制の構築、そしてライフプラン上に跨る相互扶助の理念の下、取り組む所存でございますので、何卒ご支援・ご協力の程お願ひ致します。なお、WEBの環境を有効に活用すべくホームページの立ち上げ、CRM会員化システム等の整備を図る予定です。当支部の広報活動他、サポート頂けましたら幸甚です。

支部活動
・関東宮桜会ホームページを作成予定
・12月関東支部同窓会(予定)
関東地区
お問合わせ先: 携帯090-4459-2165
MAIL:kamimura@r4.dion.ne.jp

宮桜会ニューズピックアップ

●第2回「日大ワッショイ！」平成23年秋開催決定！

今年の4月に同窓会と学校が力を合わせたイベント、第1回「日大ワッショイ」を開催しました。初めての試みでしたが、想像以上に盛り上がり皆さんから高い評価を受けました。若友理事長から継続していただきたいという言葉も頂き、8月に役員三役会議を行い、その後幹事会(日大高校から3名出席)を行い両方から来年もやる事で全員一致で決まりました。来年は今年以上のイベントにする為に10月に準備委員会を発足する予定です。興味のある方は、どしどし参加をお願いします。条件は日大高校卒業である事これだけです。

●口蹄疫被害農家に義援金 中高一で募金活動

宮崎日大高校同窓会「宮桜会」(日高三朗副会長)と「宮崎日大学園」(若友慶二理事長)が5月24日、宮崎県で猛威をふるっている口蹄疫(こうていえき)の被害農家への義援金を宮崎日日新聞を通じて届けました。金額は同窓会と学園それぞれ10万円ずつ。中学、高校でも生徒と教職員が義援金を集めました。在校生の保護者の9世帯で被害が出ていて、同学園と高校PTAでは被害を受けた世帯に対して義援金とは別に見舞金を支給しました。



連載シリーズ 第1回 あの先生は今!



高松 直彦
先生

プロフィール
昭和41年から平成元年までの25年間勤務された先生。担当は商業で、生徒を連れて、海外旅行、登山、100キロ歩く会など、逸話は数知れずの先生です。現在は、病気を克服され、今でも「山登り」ならぬ「山下り」をしておられるとのこと。

絆

N.の字がしっかり定着しましたね。このロゴマークは文武両道の躍動そのものです。

私は奉職すると直ぐ山岳部を立ち上げました。球技は不得意だが、粘りのある生徒が多く入部し、山行を共にしました。今、私は病を得て、山はおろか階段も喘いで上っています。ならばとダウンヒル、つまり山下りをしています。支えてくれるのはOB達です。昔日、私が引っ張っていたロープを、今引っ張られる立場で文字通り、これが絆というものですね。この絆の原点が、わが宮崎日大学園。柔と剛を兼ね備えた新校舎の完成が楽しみです。



遠藤 初男
先生

プロフィール
長崎県佐世保市出身。佐世保工業高等学校、東京理科大学卒業。昭和43年から平成10年まで数学を担当しました。退職後は、興味のあった仏教を極めようと通信教育で仏教大学に編入学。今でも何に対しても勉強は欠かさないそうです。

宮崎日大学園通信・新コーナーの第一回目だそうで大変恐縮しております。長い教師生活の中で一番思い出深いのは、弓道部の顧問をしている時です。当時は部の運営費があまりなく、練習するのにもままならない時代でした。ある時、宮崎太陽銀行に就職した卒業生が初のボーナスから部へ20万円寄付してくれたのです。その時の感動は今でも忘れません。退職して10年以上たちますが、宮崎日大高校卒業生の多方面での活躍はよく耳にします。宮崎日大学園のさらなる飛躍を祈っています。

支部一覧

- 宮崎中央支部
- 延岡支部
- 清武・田野支部
- 関東支部
- 宮崎東支部
- 日向支部
- 東諸支部
- 近畿支部
- 宮崎西支部
- 児湯支部
- 小林・えびの支部
- 宮崎南支部
- 西部支部
- 都城・北諸支部
- 宮崎北支部
- 佐土原支部
- 日南・串間支部



宮桜会活動について
黒木会長指揮の元に色々な活動を行っています。2009年4月宮桜会ホームページをたちあげ、卒業生(14回卒)安藤さんが経営する「スマイルデータシステム」が作成にあたり、現在年間約10,000件のアクセスがあります。宮桜会・三省会の活動やイベントなどをタイムリーに掲載しています。宮桜会・三省会に入っているOBの会社紹介も行っております。

宮桜会ホームページ
<http://www.miyaoukai.com/>

宮桜会連絡所： 学校法人 宮崎日本大学学園内 担当：松本・古市
TEL (0985) 39-1121 FAX (0985) 39-7427 E-mail:kouhou@m-nichidai.com